

全国主婦の皆さまご用達、爆笑スーパーコメディーはこれだ!

スーパーの女

製作 玉置泰 伊丹プロダクション作品 / 配給 東宝株式会社 / プロデューサー 川崎隆 / アドバイザー 荒井伸也

撮影監督 前田米造 / 照明 加藤松作 / 録音 小野寺修 / 美術 川口直次 / 編集 鈴木暁 / 音楽 本多俊之 / 音楽プロデューサー 立川直樹・梶原浩史

伊東四朗 / 三宅裕司 / 松本明子 / 小堺一機 / 柳沢慎吾 / あき竹城 / 原日出子 / 田嶋陽子 / 伊集院光 / 迫文代 / ヨネスケ / 渡辺正行 / 野際陽子 / 矢野宣 / 六平直政 / 高橋長英 / 山田純世 / 絵沢萌子 / 金萬福 / 阿知波悟美 / 柴田理恵 / 川俣しのぶ / 岡本信人 / 不破万作 / 菅井きん / 金田龍之介

宮本信子 津川雅彦主演

伊丹十三脚本監督



Sachiko.n

お待たせしました！伊丹十三監督の最新作は、なんとスーパーが題材！スーパーといってもダイエーとかイトーヨーカドーとか、ああいうビッグストアではありませんよ。みなさまのご近所にある、あの、ごくありふれた普通の食品スーパーが今度の映画の舞台なのです。

スーパーという商売は、しかし考えてみれば大冒険ですよ。ね。あんなに大きなところに大量の肉や魚や野菜を並べて売っている。これすごいことだと思いませんか？だって、売れなかったら全部腐っちゃうんです。腐ったら捨てるしかないんです。

ですからスーパーはまずなによりも売れなければなりません。ではどうしたら売れるのか。よく売れるためには、まずなによりも品物が安くなければなりません。安ければよく売れます。売れば品物がどんどんなくなります。なくなれば新しいものをどんどん補充することができま

スーパーの本質なのです。

「それにもかかわらず世の中にはひどいスーパーが多すぎる。これが問題だ」と伊丹監督は言います。「たとえばこんなスーパーは、即なくなつてほしい。野菜がしなしな。魚からは赤いおつゆが出ている。肉は変色。それを赤い蛍光灯でごまかして売っている。昨日売れ残ったものをリパックして今日の日付に直す。売れ残りの材料はお総菜に変身。しかもお総菜は朝のうちに全部作ってしまうから晩御飯のおかずを買いに行っても、フライもコロッケも冷たくなってこちら。目玉商品は単なる客寄せの餌、開店直後直ちに売り切れ。輸入肉のいいものはナーニかまわん、和牛として売ってしまえ、誰にもわかりやせん。売場はごみだらけ。従業員はお喋りに夢中。こんなスーパーはダシメツ！」

伊丹十三監督は、このようなダメスーパーの、あつと驚く舞台裏を題材に、奇想天外の爆笑スーパーコメディを作り上げました。

スーパー大好きのただのおばさ

ん井上花子が、ふと巡り会った小学校の同級生、小林五郎の経営するダメスーパー正直屋を、徹頭徹尾主婦の立場から理想のスーパーに作り直して行くというOBASANアドベンチャーです。

花子に宮本信子。五郎に津川雅彦。正直屋のライバル、安売り大魔王の社長に伊東四朗。そして、今回は伊丹映画の常連、高橋長英や金田龍之介、六平直政らに加えてテレビのバラエティーで活躍する「特選スーパー顔」の人気者たちがキャスティングされているのも大きな話題です。レジの松本明子、青果売場の三宅裕司、精肉部の柳沢慎吾、鮮魚部の伊集院光、お総菜チーフのあき竹城、大魔王の側近にヨネスケや渡辺正行、それにスーパーの客の野際陽子、迫文代、田嶋陽子先生の姿もお見逃しなくね！花子の活躍に、泣いたり笑ったり、胸をすつとさせたりして映画館を出た後、あなたはスーパーが違って見えてきたのに気づくでしょう。いつしかあなたは買い物楽しく上手になっていくはず。そして、もしかして

スーパーがもっと好きになっていくかもしれません。

映画の中で花子も言っています「スーパーのためにお客様があるんじゃない！お客様のためにスーパーがあるんだ」と。そつなです。皆さん。スーパー

は、あなたのためにあるのです。

●インターネットで

映画「スーパーの女」の

最新情報を公開中！

<http://j-entertain.co.jp/>

●東宝のページ

<http://www.hankyu.co.jp/toho/>



6月15日(土)より全国東宝系公開

特別鑑賞券絶賛発売中！●一般 1,400円／学生 1,200円

有楽町マリオン9F

日劇東宝

03(3574)1131

ハチ公前

渋谷宝塚

03(3461)8779

JR上野駅しのばず口

上野東宝

03(3831)3431